

タイトル：2023 年度 教育セミナー（第 19 回）

日時：2023 年 9 月 21 日（木）～24 日（日）

場所：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 3 階大会議室（303）

「超正統派政党シヤスの勢力伸張と衰退：シヤスの用いる言説とスファラディーム移民に対する差別」

武田 朋佳（上智大学大学院）

最初に、本セミナーを企画・運営してくださった AA 研の皆さま、4 日間交流して下さった参加者の皆さまへ心より感謝申し上げます。私は、今回初めて本セミナーに参加しました。発表経験に乏しく所属大学外での発表は初めてだったため緊張もしましたが、大変有意義な時間を過ごすことができました。

4 日間にわたって自分と異なる研究分野の発表を受け、今後、発表や論文執筆する際に構成や用いる理論などを熟考したいと感じました。私は、これまで好奇心に駆られ、イスラエルの超正統派について学んできました。そして、今回の発表のもととなった卒業論文の執筆においても、超正統派への興味が先行し、文献を読む中でまとめられそうなことを書くというかたちをとっていました。もちろん、それも 1 つの方法ではありますが、私の卒業論文の場合、構成等の設定について練る時間を十分にとれず、枠が曖昧になってしまいました。今回、プログラムを通して、改めてその点について考えさせられました。また、発表を聞く側としても、構成が練られている発表のほうが理解しやすいと感じました。プログラム中、参加者の先輩から論文を書くにあたりおすすめの本を紹介していただいたので、まずはそちらを読もうと思います。他にも先輩、先生方に頂いたご指摘について考え、これからの研究に活かしていきたいです。来年、自分の研究がどこまで進んでいるのか、どのように展開しているのかが楽しみです。

また、日頃、学外での交流が少ない私にとって、他大学所属の方々との交流は貴重な時間となりました。発表時間については勿論、発表時間外にも研究についてアドバイスを頂いたり、私が難しく感じていることについての対処法を伺ったりすることができ大変勉強になりました。研究分野が定まっていない私は、研究分野について問われることが多く、特にこの半年は悩んできましたが、交流を通して私の方向とは違うと思うものは少し明確になりました。それと同時に、私が普段触れる機会のない研究分野の大変なところや魅力について

も知ることができました。加えて、研究には関係ありませんが、先輩にご飯に連れて行っていただいたり、おすすめのことを教えていただいたり、大変楽しく過ごすことができました。研究は勿論、研究以外についても先輩や先生方の素敵なところを吸収していきたいです。

最後に、改めて AA 研の皆さま、参加者の皆さまに感謝申し上げます。またどこかでお会いできることを楽しみに勉学に励みます。